

東京都北区ジェイトエル

東京北区のイメージは赤羽の飲み屋街や王子の飛鳥山など、どちらかといえば下町のイメージが強いかもしれませんが。そして線路がやたら多く、それほど大きな面積でもない区にも関わらず駅が多い。私の人生の半分以上は十条で過ごしています。

2018年まで生活していた時の町並み・・・1個30円のコロケ、1足10円の子供向けソックス、1パック400円台のいちご。ヨーカドー、長崎屋が出店しても地元商店街十条銀座の底力で撤退させてしまう団結力。最近はお惣菜屋やエスニック料理店が増え、雰囲気が変わってきました。学校が多いので朝夕の十条駅は学生だらけ。

道が狭いので区画整理の推進と高齢者が多く世代交代も重なり十条を去って行く人々。私もその1人です。

40年以上昔、十条駅前に昭和堂という書店があり、ここで私は2年バイトしていました。開店から閉店まで12時間勤務、月3日しか休まない時もありました。時代は赤川次郎、片岡義男の文庫がよく売れ、「北斗の拳」「AKIRA」のコミックが刊行。雑誌「フライデー」が創刊したのもこの頃。みんな携わってきました。月曜日の「週刊ジャンプ」は毎週500冊完売しました。

十条は東京の北部。池袋から埼京線で2駅。次の駅は赤羽です。京浜東北線東十条駅は徒歩10分ほど。私は2つの駅の間に住んでいたので行き先に応じてとても便利でした。10階のマンションなんて近所にはなかった時代です。

それが十条駅前複合再開発タワー「ザ・タワー十条」39階というタワーマンションが建ちました。私が住んでいた頃、少しずつ空き地が増え、中学校の同じ学区域だった旧友はみんな立ち退きで引っ越してしまいました。しばらくぶりに十条へ行くと、とんでもない風景にショックで写真を撮るといった気持ちにもなれません。

このマンションに隣接して「ジェイトエル」という北区の複合施設が建ち、その3.4階が今回ご紹介する施設です。開館したのは2024年12月1日。図書館流通センター（TRC）が業務委託で運営しています。以前から王子・十条地区の図書館はTRCが業務委託になっています。北区は指定管理を採用していません。

いわゆる「図書館」ではなく複合施設に図書が配架されていると捉えた方がわかりやすいでしょう。3階は図書を中心に。4階は120人動員できるホールやスタジオなど多目的スペースになっています。

1万冊ほどの所蔵。貸出しを一切しません。札幌のどこかで聞いたことのあるコンセプトです。時々講演会など催しも行っています。図書の分野別分類法である日本十進分類法（NDC）による請求記号を背表紙につけていても、配架は、「スポーツ」（あらゆる角度からスポーツの魅力を探求できる本やグッズ、スポーツを題材としたコミックなど）、「アクティビティ」（育児関連書、アート・ファッションなどのジェイトエルでの創作活動を促す本）、「ユニバーシティ」（十条のまちや、ジェイトエルでの活動を記録したデジタルコンテンツで本を使った言葉のコミュニケーションアプリ「biblog」閲覧可）という3つのテーマに分かれています。郷土資料、文学書はほとんど扱っていません。

入口正面には高層本棚として天井までの書架が面だして並び図書が入館者を出迎えますが、上段の本を手取ることはできません。地震などで落ちないように固定しているから。その本は複本になっていて同じ本が棚の下部にあります。閲覧席は予約もできます。タブレット端末で電子雑誌や新聞を閲覧できます。

カウンターでは区内で所蔵する本の予約受け取りや返却対応します。細かいレファレンスは中央館（徒歩20分ほど）が担当しています。そしてこの施設に所蔵する図書はオンライン蔵書目録検索システム（OPAC）では検索できず、それは北区立図書館HPからも検索できません。「貸出不可」などOPACに表記しているのかなと思ったらそうではありません。

「書架を見て借りられないのは不便。仕事していると長く滞在できないから借りていきたい」と、まだ十条に住んでいる旧友は言っています。

図書の購入も中央館が地区館まとめて運営していますが、こちらだけは独立しています。

子供たちが床に座って絵本を読むコーナーもあれば、飲食自由のスペースもあります。

3階奥にはギャラリーとクリエイティブルームがあり、3Dプリンター、UVプリンター、レーザー加工機、刺繍ミシン、製本機などを利用できます。メンテナンス大変だろうなと圧倒します。

4階の設備には憧れのマーシャルのアンブ！シンセサイザー、音響や動画編集設備、ドラムはヤマハでシンバルはなんとジルジャン！世界的ドラマー達が使用しているジルジャン！区の施設として有償で利用できます。学生の頃にこの施設あったらいつも同級生とバンド練習に使えたなと羨ましい限り。大きな鏡の壁があるのでダンスレッスンもできます。

もう一体なんなんだ？！というのがこの施設への率直な感想です。

ちなみに「ジェイトエル」（J&L）の由来ですが十条（Jujo）の頭文字の「J」。ともに意味する「&」つまり「と」。「L」はライブラリー、ラボ、ラウンジから。十条とリンク（link）する思いから込められているそうです。私のおつむではきっと出てこないネーミングです。

2026年1月訪問

加藤 重男